

(別添5)

事業所名 グループホームふれんど

2 目標達成計画

作成日：平成 22年 3月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	1	地域密着型・グループホームの内容の理解ができていない。	地域密着型サービスの理念及び意義を職員全員で理解して、今後の活動の中に取り組んでいく。	・会議を行い、地域密着型の理念を再度検討し、より職員にわかりやすく、利用者・家族にも伝えやすい内容にする。 ・事業所(利用者)が地域に密着しているか定期的に検討し、見直しを行う。 12ヶ月
2	20	個人の身体的・病的アセスメントだけで、生活歴など馴染みの人や場所などの情報を収集できていない。	利用者や家族などに話を聞き、馴染みの人や場所に関わる環境をつくり、継続していきけるよに援助していく。	・利用者・家族・知人等に情報を提供してもらい、記録して職員が情報を共有できるようにする。 ・会いたい人に会う、行きたい場所に行く手段を検討し、実現できるよう計画し実施する。 6ヶ月
3	23	利用者、家族の希望や思いの収集ができていない。	利用者の生活歴(趣味や暮らしぶり)や馴染みの収集に努める。	・アセスメントシートを整備し、利用者・家族の会話から情報を収集し、全職員が把握できるようにする。 ・新しい気付きにも随時記載できるように整備し、活用できるようにする。 12ヶ月
4	10	アンケート実施し結果をまとめるだけで、ケアに反映されていない。	アンケート結果をケアにつなげていく。	・アンケート調査後、会議をもち問題点を協議し、ケアに反映させていく。 ・協議の改善事項を家族に報告する。 6ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。